# 2022年3月：JaCVAM活動マンスリーレポート

| NO. | 項　　目 | 記　　載　　内　　容 |
|---|---|---|
| **学会発表・セミナー発表** | | |
| 1 | 発表者名（口頭） | 小島　肇, 足利太可雄 |
| | 演題名 | in vitro免疫毒性試験の国際動向:New Approach Methodsに向けて |
| | 学会名, 発表年月及び場所 | 第95 回日本薬理学会年会　(2022.3.7, 福岡) |
| 2 | 発表者名（口頭） | 田中利男[1,2], 小島 肇, 藤原道夫[3], 森華奈子[3], 森葵泉[1,2], 澤田莉乃[1,2], 山本恭子[1,2], 山田佳代子[1,2], 水谷有香[1,2] |
| | 他機関所属の著者がいる場合には所属機関名を記載する | [1] 三重大学大学院医学系研究科システムズ薬理学<br>[2] 三重大学メディカルゼブラフィッシュ研究センター<br>[3] アステラス製薬株式会社　研究本部　安全性研究所 |
| | 演題名 | 次世代ゼブラフィッシュ発生毒性スクリーニングシステムの研究開発 |
| | 学会名, 発表年月及び場所 | 第95 回日本薬理学会年会　(2022.3.7, 福岡) |
| 3 | 発表者名（口頭） | 足利太可雄 |
| | 演題名 | THP-1細胞の活性化を指標にしたナノマテリアルの免疫毒性評価の試み |
| | 学会名, 発表年月及び場所 | 日本薬学会第142年会(2022.3.26, Virtual) |
| 4 | 発表者名（ポスター） | 伊藤潤[1], 安部賀央里[1], 足利太可雄, 頭金正博[1] |
| | 他機関所属の著者がいる場合には所属機関名を記載する | [1] 名古屋市立大学大学院薬学研究科　レギュラトリーサイエンス分野 |
| | 演題名 | ヒト皮膚感作性データを用いた機械学習によるin silico予測モデルの開発 |
| | 学会名, 発表年月及び場所 | 日本薬学会第142年会(2022.3.27, Virtual) |
| 5 | 発表者名（口頭） | 小島 肇 |
| | 演題名 | 化粧品の安全性評価試験法について |
| | 学会名, 発表年月及び場所 | 日本薬学会第142年会(2022.3.28, Virtual) |